

毛収第 755 号の2

平成20年10月 3日

国土交通省道路局長 様

埼玉県

毛呂山町長 小 沢 信 義



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のありました標記の件につきましては別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

埼玉県毛呂山町

地方が真に必要としている道路整備が滞ることなく着実に進むよう、地方に配分される財源の維持に努めていただきたい。
また、財源の配分にあたって、その地域の道路整備や財政状況を勘案し、地域間格差の是正に配慮いただきたい。

②－１ 地域の現状と抱える課題

埼玉県毛呂山町

○現状

毛呂山町は、都市基盤の骨格となる都市計画道路の整備率が、県平均 51.1%と比較して 25.5%と非常に低い状況である。駅前広場を含む街路事業は、国の補助金を活用し、一般財源の捻出に努めながら計画的に進めている中、広域的な幹線道路の整備率の低さが特に目立っている。この道路整備の遅れは、町の産業や観光に大きな影響を与えている。

また、国内有数の病院（埼玉医科大学）がある当町においては、県内外より救急車両で搬送されてくる患者にとって、道路整備の遅れは救命活動に支障を来たす。

○課題

町施行の都市計画街路や幹線道路の整備に充てる財源（補助金等）を安定的に確保しなければならない。

インターチェンジからのアクセス道路の計画は3路線あり、企業の誘致や観光、人口流入の推進のため、早期完了を実現しなければならない。

②－２ 地域の目指すべき将来像

埼玉県毛呂山町

広域的な幹線道路から、町内の拠点を結ぶ道路、そして身近な生活道路にいたるまで、系統で段階的な道路整備を推進することで、沿線地域の良好な土地利用を誘導する。市街地では、人が集い、買物や文化活動がさかんな賑わいのある町並みを形成し、調整区域においては、秩序ある土地利用が図られます。また、道路整備により企業立地や商業、観光の振興が進み、地域が活性化することにより活力あるまちづくりが実現する。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重要事項（代表事例、期待する効果や評価等）

埼玉県毛呂山町

○重点項目	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上 ・都市交通の快適性、利便性の向上	・新飯能寄居線の早期完了と都市計画道路川越坂戸毛呂山線及び（仮）川越越生線の早期事業着手（関越自動車道及び首都圏連絡自動車道のアクセス道路） ・広域幹線道路である現県道及び町内主要道路の未改良部の整備（交差点、歩道など） ・都市計画街路長瀬駅前野久保線の供用開始	・企業誘致による産業の発展、観光の振興や人口の流入による活性化 ・渋滞緩和や安全性の確保など道路環境の向上 ・中心市街地の活性化、防災機能の強化、公共交通相互の結節性の向上	